

平成26年度 田村市立船引小学校

学校だより No.7

発行日:平成26年11月5日(水) 発行責任者:校長 富塚忠夫

ねばり強くがんばる子を育てる

先月末、各学年の校内マラソン大会を行いました。学年によっては、天候の都合で日程変更をせざるを得なく、保護者の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。各学年において、多くの皆様がおいでくださり、温かい声援をいただきました。ありがとうございました。



各学年の第1位(大会新記録の第2位を含む)は、次のとおりです。

	男子1位	女子1位
1年	<small>あきもとる い</small> 秋元琉偉(3組) ※大会タイ記録	<small>わたなべ にじな</small> 渡辺虹心(2組)
2年	<small>やないゆうき</small> 箭内優貴(1組)	<small>むとうことは</small> 武藤琴羽(2組)
3年	<small>わたなべ たくみ</small> 渡邊 匠(1組)	<small>こはた は</small> 木幡葉るか(1組)
4年	<small>よしだたくみ</small> 吉田拓未(4組)	<small>わたなべつきは</small> 渡辺月絆(2組)
5年	<small>さとうせな</small> 佐藤聖那(3組) ※大会新記録 <small>くわなしよう</small> 桑名 聖(3組) ※第2位・大会新記録	<small>かんの みやび</small> 菅野 雅(3組)
6年	<small>わたなべいぶき</small> 渡辺伊吹(3組)	<small>うじいえ そら</small> 氏家 空(2組)

くるしそうな表情で必死に走る子、ゴール直後に悔しさで涙する子、子どもたちは困難を乗り越えて、ひとまわり大きく成長することと思います。

子どもたちが苦勞している姿を見るのは、私たち大人にとってもつらいものがあります。でも、先人は言いました。「かわいい子には旅をさせよ」「若いうちの苦勞は買ってでもせよ」「獅子はわが子を千尋の谷に突き落とす」子どもたちは自分で困難を乗り越えたときに成長します。つまづかないように、失敗しないように、大人が全て助けてあげてしまうことは、もしかすると、子どもたちの成長の機会をうばってしまうのかもしれない。

船引小学校では、いろいろな体験を通して、失敗しても、つまづいても、ねばり強くがんばる子を育てたいと考えています。各ご家庭、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

入賞の記録

地区青少年読書感想文コンクール

特選 (県出品)

- ・ やないなるみ 箭内成美 (2年) 「星おとし」を読んで
- ・ つばいひろき 坪井洸樹 (3年) 「かあちゃんとりあつかいせつ明書」を読んでわかったこと
- ・ とさわのどか 戸澤和花 (4年) 「ただいま」といえること
- ・ はっとりさとし 服部聡史 (5年) 「時をつなぐおもちゃの犬」を読んで



特選

- ・ むとうたくや 武藤拓哉 (5年) 「カブトムシ山に帰る」を読んで
- ・ やぎぬまゆうた 柳沼勇太 (6年) マッチ箱日記を読んで
- ・ あんどうふうか 安藤楓華 (6年) 「ふたり」を読んで

準特選 9名

入選 8名

田村市ふくしまっ子ごはんコンテスト

優秀賞 つなかわひろと 綱川尋斗 (6年) 優良賞 よしだけんしん 吉田健眞 (5年)



第19回智恵子のふるさと小学生紙絵コンクール

優秀賞 はにゆうめい 羽生芽以 (4年) あきもとりょうた 秋元綾太 (6年)

田村地区交通安全ポスターコンクール

優秀賞 はしちどりょうこ 橋本涼子 (2年) しらいわももか 白岩杏々佳 (2年)

佳作 かげやまあずは 影山梓葉 (3年)



青い魚と花 (高村智恵子)